

## 第4回兵庫県高校生英語ディベートコンテスト報告

「第4回兵庫県高校生英語ディベート大会」姫路西高等学校で開催されました。参加17校を制したのは、第1回、第2回大会の優勝校である、葺合高校でした。2位に尼崎小田高、3位に龍野高と姫路飾西高がそれぞれ入賞を果たしました。今年は、決勝に進んだ尼崎小田高校はこれまでの大会で、初めて、全員男子で構成されたチームでさわやかな旋風をまきおこしていました。また、立論でサインポストを立てることを義務づけたため、お互いの主張が理解しやすくなったようです。また、回を重ねるごとに、証拠の提示が洗練されて、各校とも工夫を凝らした効果的な提示を行っていました。また、準備段階では、他校との練習試合を実施した地域も現れ、その成果も着実に上がっているようです。第5回大会での各校の更なる健闘を期待しています。

### 1. 今年度活動の足跡

5月14日(金)	論題原案最終決定
	“High school students should be allowed to work part-time.”
	「アルバイトを全面許可すべきだ。」
5月20日(木)	第1回運営委員会(論題・要項正式決定)
6月18日(金)	英語部会総会(要項・論題発表) (西宮市民会館アミティーホール)
8月17日(火)	第2回運営委員会(秋以降の運営事項検討) (神戸市青少年会館)
9月29日(水)	大会参加表明期日
11月21日(日)	全国大会予選会(今年度は実施せず)
12月3日(金)	第3回運営委員会・審査員講習会(神戸市青少年会館)
1月20日(木)	第4回運営委員会(事前準備事項確認検討) (姫路西高校)
1月29日(土)	第5回運営委員会(前日会場準備) (姫路西高校)
1月30日(日)	第4回兵庫県高校生英語ディベートコンテスト (県立姫路西高)
	3月3日(木) 第6回運営委員会(大会反省)

### 2. 委員会構成

平成22年度兵庫県高校生英語ディベートコンテスト委員会(運営委員長 岡野幸弘副会長[神戸・長])  
事務局(県立姫路西高等学校内) TEL. 079-281-6621 FAX. 079-281-6623  
顧問 久保裕視(神戸市外国語大学講師)

総務部	◎ 藪内章彦(姫路西)	玉村公一(市琴丘)
	原田尚昭(香住)	篠原みゆき(国際)
	武井雅弘(県立大附属)	真田弘和(国際)
運営部	小林哲(尼崎小田)	小笠原良浩(姫路西)
	森田智尚(姫路飾西)	貞松千佳子(芦屋国際)
	桃井活果(市琴丘)	沖祐介(豊岡)
研究部	藤本恵司(市葺合)	神田周久(三木)
	大川訓男(播磨特別支援)	渋川亨(兵庫)
	坂本健一(姫路別所)	丑田啓之(尼崎西)
審査委員	西崎善久(福崎)	木村孝(神戸)
	富田優子(姫路西)	池上美保(姫路飾西)
	大目木俊憲(川西北陵)	小山宜伸(兵庫)

1. 主催： 兵庫県高等学校教育研究会英語部会  
兵庫県高校生英語ディベートコンテスト委員会
2. 後援： 兵庫県教育委員会
3. 協賛： GTEC for STUDENTS (株式会社ベネッセコーポレーション)  
OUP (オックスフォード大学出版局)  
STEP (財団法人 日本英語検定協会)
4. 日時： 平成23年1月30日(日) 8:30~17:00
5. 会場： 県立姫路西高等学校 (〒670-0877 姫路市北八代2-1-33)
6. 論題： **High school students should be allowed to work part-time.**  
「高校生のアルバイトを全面許可すべきである。」  
付記事項： 全面許可とは、学校への届け出なしに自由にアルバイトをしても良いことを指す。

7. 出場校： 県立国際高等学校、県立芦屋国際中等学校、県立尼崎小田高等学校、県立鳴尾高等学校、関西学院高等部、神戸市立葺合高等学校、灘高等学校、県立明石西高等学校、県立明石城西高等学校、県立三木高等学校、県立姫路西高等学校、姫路市立琴丘高等学校、県立姫路飾西高等学校、県立龍野高等学校、県立相生高等学校、県立大学附属高等学校、県立豊岡高等学校 (計17校)

参加生徒82名 参加審査員数 62名 (日本人 37名 ALT 25名)

(第1回10校 生徒45名、第2回16校 生徒78名、第3回18校 生徒86名)

8. 結果： 優勝 神戸市立葺合高等学校 準優勝 県立尼崎小田高等学校  
3位 県立龍野高等学校 県立姫路飾西高等学校

(予戦各校3試合を行った結果、以下のベスト8で決勝トーナメントを実施しました。)

